

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 思恩会

平成 30 年度 社会福祉法人思恩会 事業報告書

1. 思恩会の理念

- 愛の精神：「愛と慈しみ」に満ちた社会の幸せを追求します。
- 思恩の心：「親・師・社会・自然」の四つの恩に感謝し、社会の幸せに貢献します。

2. 総 括

1. 思恩会を取り巻く福祉の動向

少子高齢化、人口減少という大きな課題は、国全体の経済、社会の存続の危機に直面しており、これを乗り越えるには地域の力を強化し、その持続可能性を高めていくことが必要と考えられている。その考えのもと、地方創生や一億総活躍社会の実現に向けた取組が進められており、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、活躍できる、地域共生社会の実現が求められている。

この地域共生社会の実現が提唱され、これを受けた社会福祉法の改正により、様々な地域における生活・福祉課題、既存の制度による解決が困難な「制度の狭間」の課題を解決するための包括的な支援体制づくりが明記され、社会福祉法人には「地域における公益的な取組を実施する責務」が求められている。その中で社会福祉法人は、地域において多様な福祉サービスを提供してきた実績を活かし、地域における課題について住民が「我が事」と感じて活動するきっかけづくり、施設や専門的人材等の資源を活用し、課題を「丸ごと」受け止める場の提供、福祉の専門性を活かし、包括的な支援を実施するために多機関協働の中核を担っていく取組が期待されている。

公益的な取組はもともと社会福祉法人の存在意義であり、思恩会においては長い歴史の中で受け継がれ実践されてきており、今後もその原点を思い起こし地域共生社会実現に向け、地域に密着した法人運営を継続していく。

一方、社会福祉事業を行うための人材確保や定着等の困難な状況は日々深刻化してきており、特に介護職員においては日本の人口構造から国の施策によって介護人材が充足することも困難な状況になっている。今後、社会福祉法人が福祉サービスの担い手の中核として、また地域ニーズに応える取組を提供する存在となるために、思恩会でも働き方改革への対応、賃金改善のみならず、福利厚生面や職員の育成面にも力を入れ、職員が長く働き続け、成長することを支援し、職場環境を改善、向上させながら人材確保に努めていきたい。

経営面においては、平成 29 年度の社会福祉法人の決算状況を見ると赤字法人の割合が拡大している。事業別では介護分野において、平成 30 年度に介護報酬 0.54% のプラス改定があったものの、人件費の上昇傾向は強く、今後も厳しい運営が予想される。社会保障費は抑制傾向にあるが介護給付費自体は過去最高を更新し続けており、今後も介護事業に参入する事業者が増えることから、思恩会としても人材を定着させ、高品質のサービスを提供し、利用者に選ばれる施設として今後も経営を安定させていきたい。

2. 重点事項への取り組み

(1) 法人運営

①地域貢献の推進

社会福祉法改正により、「地域における公益な取組」は社会福祉法人に課せられた基本的活動として責務化された。思恩会及び各施設は、これまで長年にわたり実践してきた取組を今年度も継続し、地域の信頼を得ることができた。今後も思恩会の存在意義でもある公益的な取組を推進していくよう努めていく。

②老人福祉施設整備計画の推進

湯野浜思恩園移転新築計画について、当初交渉を進めていた鶴岡市下川字七窪地内の土地取得は価格交渉でまとまらず断念、新たな移転先として鶴岡市馬町字枇杷川原地内の土地の紹介を受け取得交渉を進め、売買契約を締結することができた。併せて隣地の追加取得の交渉を進め、来年度早々にも契約締結に至る見通しである。土地境界確認、測量も終了し、来年度は各種申請・許可の後、造成工事、基本設計から実施設計まで進めることになる。

③地域小規模児童養護施設の開設準備

県内初の「地域小規模児童養護施設」開設に向け、鶴岡市双葉町の物件について不動産賃貸借契約を締結、山形県の補助金交付の内示を受け工事を着工、3月に完成を迎えた。安定した運営に向け、検討委員会を中心に準備を進め、施設名称を「ひなた」として平成31年4月1日開設まで到達することができた。開設後は、地域の一員として交流を深めるなど地域との連携に努めたい。

④人材確保と定着

多くの産業で人材不足が叫ばれる中、介護職員不足は深刻な問題となっている。思恩会では例年通りの採用試験を実施、様々な機会、媒体を通して求人活動を行ったが厳しい結果となった。今後もこのような状況は続くともみられ、人材確保、定着に向け、賃金改善、福利厚生の充実、人材育成等具体的に対策し、他施設との差別化を図り求職者に選ばれる施設、職員が定着する施設づくりに努めなければならない。

⑤地域包括支援センターの体制整備

今年度10月より、鶴岡市地域包括支援センター担当地域の再編が行われ、新たに大山地域を加えての運営となった。また、同じ時期、鶴岡市生活支援体制整備事業を受託、センター内に生活支援コーディネーターを配置することとなった。新体制となった上、担当4地域の内、大山地域の高齢者人口が最も多く、業務の効率化等考慮し、平成31年度より大山地域に拠点を移し運営することとし準備を進めた。「鶴岡西地域包括支援センター」と改称し、平成31年4月1日移転、業務開始となる。

(2) 七窪思恩園

①児童の権利擁護及び法令遵守の徹底

全国児童養護施設協議会による「人権擁護のためのチェックリスト」を2回実施した。職員による養育の振り返りと自己点検を契機として、人権意識の涵養と養育の振り返りによる人権侵害の禁止・防止、適切な養育に向けた取り組みを行うとともに、子どもの人権擁護と人権侵害防止に徹底して取り組んだ。同時に、法令遵守責任者による施設内虐待防止の制度説明などを実施し、法令遵守および内部統制の徹底を行った。

②「地域小規模児童養護施設」の開設

「地域小規模児童養護施設設置検討委員会」を中心に、開設に向けての具体的な検討と地域・関係機関との調整を行った。また、小規模グループケア内で行ったシミュレーションも順調に進み、「地域小規模児童養護施設」開設への準備が整った。

③児童家庭支援センターシオン

10月14日、聖マリアンナ医科大学名誉教授の堀内勁先生を講師にシオンセミナーを開催し、“親子の絆と子どもの発達”をテーマに妊娠から乳児期を中心に、親子の関わりについて講演をいただき大きな反響を得た。また、里親支援として「庄内地区里親および七窪思恩園合同懇談会」と「里親サロン」を主催し、里親同士および里親と児童養護施設の連携を図るとともに里親の抱える課題解消にむけ活動を行った。

(3) 湯野浜思恩園

①施設整備について

移転新築に向け、移転先として馬町字枇杷川原地内の土地について売買契約の締結に至った。来年度は、隣地の追加取得、各種許可申請、造成工事、設計を進めることになる。また、新設する施設形態や設備面等については、施設整備検討委員会を中心に視察研修などをとおして多角的に検討を行うと共にユニットケアについての研修も行った。

②施設運営について

入居者の重度化、精神疾患等困難ケースの増加により職員の業務負担が大きくなってきていることから、業務の見直しによる効率化、入居者支援においては個別支援、個別ケアへの転換を図った。また、長時間夜勤の負担軽減及びユニット特養開設を見据え、16時間夜勤から8時間夜勤への移行を試行的に実施した。

(4) しおん荘

①科学的介護の実践研究

排泄と褥瘡に関して、科学的な根拠に基づくケアを多職種で取り組み、尊厳に配慮した排泄ケア、褥瘡の発生を未然に防ぐためのケアを実践した。認知症、精神疾患ケアについては、個々の日常行動のアセスメントを行い、専門医の助言を参考にしながら研究し、介護技術の充実につながった。

②看取りケアの充実

終末期をその人らしく生き、その人らしい最期を迎えられるよう研修やカンファレンスをとって職員の意識向上を図り、入居者とその家族が望む看取りケアになるよう丁寧に取り組んだ。また、看取りの後には振り返りのカンファレンスを行い、職員の精神的な負担や不安を共有し、その後のケアにつなげる機会とした。

③安全なケアの強化

高齢化、重度化する入居者の移動、移乗介助や座位保持、ベッド上での安楽な姿勢保持等について、研修会への参加や理学療法士の指導を受け知識と技術の向上に取り組んだ。また、しおん荘に適した福祉機器の導入に向け、入居者、介護職員双方の負担軽減を考慮し検討したが、導入には至らなかった。

④防災体制の強化

BCPの見直しを行うと共に、防災設備取り扱いの研修、津波・火災想定避難訓練を実施した。また、災害非常時を想定した炊き出し訓練を実施し、職員の実践対応能力の向上に努めた。

(5) 思恩会福祉プラザ

①多機能ゆのはま

今後、在宅における看取りも増えていくことから、その対応について職場内研修をとおして知識習得を図った。また、職員のスキルアップを目指し、職員各自が目標設定し評価することにより資質の向上に努めた。登録者は減少傾向にあり、在宅サービスを一元的に提供できる強みを活かし、より質の高いサービスを継続して提供することが必要になってくる。

②しおん荘地域包括支援センター

10月より、担当地域に大山地域が加わると共に、生活支援体制整備事業を受託、生活支援コーディネーターを配置しての運営となった。対象高齢者も倍増し職員の業務負担も懸念されるが、今年度も、個別の相談や地域課題を把握しながら一つひとつ解決に向け支援活動を行ったことにより、利用者および地域住民より一定の評価を得ることができた。「2025年」に向け、地域における医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的な提供の仕組みづくりが必要とされており、地域包括支援センターが担う役割が益々大きくなってくる。

③しおん荘居宅介護支援事業所

各地区において事業所の周知活動を積極的に行い、地域の利用者に選ばれる事業所づくりに努め、ケアプラン作成件数の大幅な増加につながった。また、各種研修をとおしてケアマネジメントの質の向上を図り、地域の高齢者が住み慣れたところで安心して暮らし続けられるよう包括的で継続的なマネジメントを実践することができた。

④しおん荘ホームヘルパーセンター

要介護者の利用は減少する一方、総合事業対象者の利用は増加している。利用者に対し質の高いサービス提供がなされているものの、総合事業の単価が低いことで減収となり、人材不足も含め厳しい運営状況にある。次期制度改正では、軽度者の生活援助サービスの総合事業移行も議論されており、地域のニーズを含めホームヘルパーセンターのあり方について検討する時期に来ているものと思われる。

(6) 多機能かも

①サービスの質の向上への取り組み

自己評価及び運営推進委員による評価を通じてサービスの改善と質の向上につなげることができた。登録者の変動が大きく、運営に苦慮することもあるが地域に密着した質の高いサービスを提供することができた。

②地域交流への取り組み

可能な限り地域行事に参加するよう配慮した他、地域住民の協力を得ながら「夕涼み会」や「芋煮会」を開催し地域との交流を推進した。地域交流カフェも好評で、介護予防のみならず地域の寄合の場として大きな役割を果たしている。

(7) 施設運営 *各施設事業報告参照

3. 主な設備整備の状況

地域小規模児童養護施設ひなた開設に伴う改修工事及び購入備品

・工事費（内訳）		
建物改修		8,100,000 円
外構工事		3,024,000 円
建物追加工事（電源回路）		356,400 円
固定資産備品		1,054,512 円
その他備品（家具類）		516,942 円
（家電関係）		671,004 円
（事務用備品）		494,057 円
（P C ・ O A 関係）		336,960 円
合 計		14,553,875 円（税込）
・財 源（内訳）		
山形県		8,000,000 円
S B I 子ども希望財団		2,000,000 円
寄付金		1,000,000 円
自主財源		3,553,875 円
合 計		14,553,875 円（税込）

湯野浜思恩園移転新築に伴う土地取得関係

・項 目（内訳）		
土地代		17,149,671 円
合 計		17,149,671 円（税込）
・財 源		
自主財源		17,149,671 円

多機能ゆのはまエアコン（KHP から電気式）入替工事

・工事費（内訳）		
エアコン改修及び入替工事		6,966,000 円
合 計		6,966,000 円（税込）
・財 源		
自主財源		6,966,000 円

4. 法人運営の状況

(1) 諸規程の改正

○規程

- ①定款（鶴岡市生活支援体制整備事業受託に伴う改正）
- ②就業規則（勤務時間及び休憩時間の改正、労働基準法改正に伴う改正、パワーハラスメントの禁止を規定、地域小規模児童養護施設の勤務時間及び休憩時間の規定、地域包括支援センター事業所名称変更）
- ③給与規程（夜勤手当の見直し、勤勉手当支給割合の引上げ、年末年始手当新設）
- ④準職員等取扱規程（期末手当の支給条件の改正、年末年始手当の規定、労働基準法改正に伴う改正）
- ⑤経理規程（鶴岡市生活支援体制整備事業受託に伴う改正、湯野浜思恩園施設整備拠点区分の設置、地域小規模児童養護施設サービス区分の設置、地域包括支援センター事業所名称変更）
- ⑥公印管理規程（地域包括支援センター事業所名称変更）
- ⑦文書管理規程（地域小規模児童養護施設開設に伴う改正、地域包括支援センター事業所名称変更）
- ⑧被服貸与規程（地域小規模児童養護施設開設に伴う改正）
- ⑨入所者（児）預かり金等取扱規程（地域小規模児童養護施設開設に伴う改正）
- ⑩組織機構等に関する規程（地域小規模児童養護施設開設及び地域包括支援センター移転に伴う改正）

○運営規程

- ①運営規程（介護報酬改定に伴う改正、鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業移行に伴う改正、地域包括支援センター担当地域再編に伴う改正、文言の修正、多機能かも管理者の変更、多機能ゆのはま登録定員の変更、地域包括支援センター事業所名称及び所在地変更）
- ②利用者契約書（介護報酬改定に伴う改正）
- ③重要事項説明書（介護報酬改定に伴う改正、鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業移行に伴う改正、障害福祉サービス報酬改定に伴う改正、嘱託医変更）

(2) 合同行事等の開催

- ①H30. 6. 22（金）思恩会後援会総会：湯野浜温泉 亀や
- ②H30. 7. 5（木）合同法要（思恩会・後援会）：慈愛の塔・集会室
- ③H30. 7. 14（土）合同夏祭り（湯野浜思恩園・しおん荘・後援会・湯野浜地区社会福祉協議会）：駐車場
- ④H30. 7. 27（金）七窪思恩園夏祭り（七窪思恩園）：駐車場
- ⑤H30. 8. 3（金）多機能かも夕涼み会（多機能かも）：駐車場
- ⑥H30. 9. 14（金）敬老の日祝会（思恩会・後援会）：集会室・しおん荘中央館ホール
- ⑦H30. 9. 17（日）理事長杯争奪将棋大会：集会室
- ⑧H30. 10. 8（月）合同運動会（思恩会・後援会）：湯野浜小学校体育館
- ⑨H30. 12. 16（日）合同クリスマス祝会（思恩会・後援会）：集会室・しおん荘中央館
- ⑩H31. 1. 25（金）合同新年会（思恩会・後援会・むつみ会）：ホテルテトラリゾート鶴岡
- ⑪H31. 3. 21（木）七窪思恩園卒業就職入進学祝会（思恩会・後援会）：体育館

(3) 主な事業活動

- H30. 4. 2 辞令交付式、新任職員オリエンテーション
2 法人経営会議
9 湯野浜小学校入学式
5. 1 法人経営会議
9 内部監査資料提出
20 思恩会創立記念日
16~18 思恩会期末定例監査
27 湯野浜地区大運動会
6. 1 法人経営会議
29~30 鶴岡地区特養連絡協議会総会：愉海亭みやじま
7. 3 法人経営会議
29 第1回思恩会職員採用試験（中止）
8. 2 法人経営会議
9. 1 法人経営会議
23 第2回思恩会職員採用試験（高卒）・第1回内部登用試験
24 湯野浜地区敬老会：コスパ
30 加茂地区敬老会：加茂コミセン
10. 1 辞令交付式、法人経営会議
14 シオンセミナー：なの花ホール
26 文教地区懇親会：コスパ
28 第3回思恩会職員採用試験
11. 2 法人経営会議
8~9 役職員視察研修
15 七窪思恩園県指導監査
12. 3 法人経営会議
13 湯野浜思恩園移転用地契約会：真砂子屋
H31. 1. 4 法人経営会議
湯野浜地区新年顔合わせ会：コスパ
6 加茂地区新年顔合わせ会：加茂コミセン
2. 4 法人経営会議
10 第4回思恩会職員採用試験
3. 1 法人経営会議、理事協議会
11 第2回内部登用試験
16 湯野浜小学校卒業式
17 しおんのつどい
26 平成31年度重油入札会

(4) 職員人事（正規職員）

○新規採用	H30. 4. 1	七窪思恩園	児童指導員	1名
		湯野浜思恩園	看護師	1名
		しおん荘	事務員	1名
		しおん荘	介護員	3名
		しおん荘	看護師	1名

○正規登用	H30. 4. 1	七窪思恩園	保育士	2 名	
		湯野浜思恩園	支援員	1 名	
		しおん荘	管理栄養士	1 名	
	H30. 10. 1	七窪思恩園	保育士	2 名	
		しおん荘	介護員	2 名	
		多機能かも	介護員	1 名	
○異 動	H30. 4. 1	しおん荘介護員→しおん荘ホームヘルパーセンター所長			
		湯野浜思恩園事務員→七窪思恩園児童指導員			
		湯野浜思恩園調理員→しおん荘調理員			
		湯野浜思恩園看護師→多機能かも看護師			
		しおん荘事務員→湯野浜思恩園事務員			
		しおん荘介護員→多機能ゆのはま介護員			
		しおん荘調理員→湯野浜思恩園調理員			
		多機能ゆのはま介護員→しおん荘介護員			
	H30. 10. 1	しおん荘介護員→湯野浜思恩園支援員			
○定年後継続雇用		しおん荘荘長	1 名	しおん荘看護師	1 名
		多機能かも所長	1 名	多機能かも介護員	1 名
○退 職 者		七窪思恩園保育士：依願			H30. 5. 31
		七窪思恩園管理栄養士：依願			H30. 9. 30
		多機能ゆのはま介護員：依願			H30. 9. 30
		七窪思恩園児童指導員：依願			H30. 10. 31
		しおん荘介護員：依願			H31. 1. 31
		しおん荘事務員：依願			H31. 3. 31
		しおん荘介護員：依願			H31. 3. 31
		包括支援センター保健師：依願			H31. 3. 31
		多機能かも看護師：定年			H31. 3. 31

(5) 国家資格等取得状況

- ・ 社会福祉士 2 名 ・ 公認心理師 2 名 ・ 介護福祉士 2 名
- ・ 介護職員による喀痰吸引等研修
介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（50 時間、筆記試験、実地研修、3 類型）－厚生労働省令別表第二号研修 5 名
- ・ 社会福祉主事任用資格 2 名

5. 理事会・評議員会・委員会開催状況

(1) 理事会

○平成 30 年 5 月 29 日

- 議第 1 号 平成 29 年度社会福祉事業 事業報告について
- 議第 2 号 平成 29 年度公益事業 事業報告について
- 議第 3 号 平成 29 年度社会福祉事業区分決算について

- 議第 4 号 平成 29 年度公益事業区分決算について
* 思恩会監事監査報告
- 議第 5 号 就業規則の一部改正について
- 議第 6 号 運営規程の一部改正について
- 議第 7 号 思恩会評議員候補者の推薦について
- 議第 8 号 思恩会評議員選任・解任委員会の招集について
- 議第 9 号 定時評議員会の招集について
- 平成 30 年 5 月 29 日
 - 議第 10 号 鶴岡市生活支援体制整備事業業務委託契約の締結について
 - 議第 11 号 定款変更について
 - 議第 12 号 経理規程の一部改正について
 - 議第 13 号 運営規程の一部改正について
 - 議第 14 号 地域小規模児童養護施設の開設について
 - 議第 15 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
 - 議第 16 号 平成 30 年度公益事業区分資金収支補正予算について
 - 議第 17 号 思恩会評議員候補者の推薦について
 - 議第 18 号 思恩会評議員選任・解任委員会の招集について
 - 議第 19 号 評議員会の招集について
- 平成 30 年 11 月 29 日
 - 議第 20 号 給与規程の一部改正について
 - 議第 21 号 準職員等取扱規程の一部改正について
 - 議第 22 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
 - 議第 23 号 平成 30 年度公益事業区分資金収支補正予算について
 - 議第 24 号 湯野浜思恩園移転新築に伴う土地取得について
 - 議第 25 号 湯野浜思恩園土地取得売買契約の締結について
 - 議第 26 号 評議員会の招集について
- 平成 31 年 1 月 25 日
 - 議第 27 号 就業規則の一部改正について
 - 議第 28 号 準職員等取扱規程の一部改正について
 - 議第 29 号 経理規程の一部改正について
 - 議第 30 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
 - 議第 31 号 湯野浜思恩園移転新築用地の追加取得について
 - 議第 32 号 評議員会の招集について
- 平成 31 年 3 月 18 日
 - 議第 33 号 地域小規模児童養護施設の施設名称承認について
 - 議第 34 号 地域小規模児童養護施設運営規程の制定について
 - 議第 35 号 地域包括支援センター事業所名称の変更について
 - 議第 36 号 地域包括支援センター移転及び所在地の変更について
 - 議第 37 号 普通財産使用貸借契約の締結について
 - 議第 38 号 多機能ゆのはま登録定員及び利用定員の変更について
 - 議第 39 号 就業規則の一部改正について
 - 議第 40 号 経理規程の一部改正について
 - 議第 41 号 準職員等取扱規程の一部改正について
 - 議第 42 号 入所者(児)預かり金等取扱規程の一部改正について
 - 議第 43 号 組織機構等に関する規程の一部改正について

- 議題 44 号 運営規程の一部改正について
- 議題 45 号 思恩会福祉プラザ設置及び管理規程の一部改正について
- 議題 46 号 介護予防拠点「地域交流室」運営規程の一部改正について
- 議題 47 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
- 議題 48 号 平成 30 年度公益事業区分資金収支補正予算について
- 議題 49 号 平成 31 年度社会福祉法人思恩会事業計画について
- 議題 50 号 平成 31 年度社会福祉事業区分資金収支予算について
- 議題 51 号 平成 31 年度公益事業区分資金収支予算について
- 議題 52 号 苦情対応規程に基づく第三者委員の選任について
- 議題 53 号 平成 31 年度重油納入業者の契約について
- 議題 54 号 役員の選任について
- 議題 55 号 施設長の選任について
- 議題 56 号 評議員会の招集について
- 平成 31 年 3 月 26 日
- 議題 57 号 常務理事の選任について

(2) 評議員会

- 平成 30 年 6 月 13 日
 - 評議第 1 号 平成 29 年度社会福祉事業 事業報告について
 - 評議第 2 号 平成 29 年度公益事業 事業報告について
 - 評議第 3 号 平成 29 年度社会福祉事業区分決算について
 - 評議第 4 号 平成 29 年度公益事業区分決算について
 - * 思恩会監事監査報告
 - 評議第 5 号 就業規則の一部改正について
- 平成 30 年 9 月 18 日
 - 評議第 6 号 鶴岡市生活支援体制整備事業業務委託契約の締結について
 - 評議第 7 号 定款変更について
 - 評議第 8 号 経理規程の一部改正について
 - 評議第 9 号 地域小規模児童養護施設の開設について
 - 評議第 10 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
 - 評議第 11 号 平成 30 年度公益事業区分資金収支補正予算について
- 平成 30 年 12 月 7 日
 - 評議第 12 号 給与規程の一部改正について
 - 評議第 13 号 準職員等取扱規程の一部改正について
 - 評議第 14 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
 - 評議第 15 号 平成 30 年度公益事業区分資金収支補正予算について
 - 評議第 16 号 湯野浜思恩園移転新築に伴う土地取得について
 - 評議第 17 号 湯野浜思恩園土地取得売買契約の締結について
- 平成 31 年 2 月 4 日
 - 評議第 18 号 就業規則の一部改正について
 - 評議第 19 号 準職員等取扱規程の一部改正について
 - 評議第 20 号 経理規程の一部改正について
 - 評議第 21 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
- 平成 31 年 3 月 26 日
 - 評議第 22 号 就業規則の一部改正について

- 評議第 23 号 経理規程の一部改正について
- 評議第 24 号 準職員等取扱規程の一部改正について
- 評議第 25 号 平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支補正予算について
- 評議第 26 号 平成 30 年度公益事業区分資金収支補正予算について
- 評議第 27 号 平成 31 年度社会福祉法人思恩会事業計画について
- 評議第 28 号 平成 31 年度社会福祉事業区分資金収支予算について
- 評議第 29 号 平成 31 年度公益事業区分資金収支予算について
- 評議第 30 号 苦情対応規程に基づく第三者委員の選任について
- 評議第 31 号 役員の選任について

(3) 監査実施状況

- ① 思恩会監事監査（本部・6 拠点・付帯施設）
 - ・平成 30 年 5 月 16 日：法人本部、包括支援センター、しおん荘
 - 17 日：七窪思恩園、湯野浜思恩園
 - 18 日：福祉プラザ各事業所、多機能かも
- ② 児童福祉施設に対する指導監査（山形県庄内総合支庁子ども家庭支援課）
 - ・平成 30 年 11 月 15 日：七窪思恩園、児童家庭支援センターシオン

(4) 委員会等

- ① 評議員選任・解任委員会
 - ・開催日：平成 30 年 6 月 8 日（成田委員長、大川委員、中村委員、相馬委員）
 - 場 所：しおん荘会議室（評議員の選任）
 - ・開催日：平成 30 年 9 月 7 日（成田委員長、大川委員、中村委員、相馬委員）
 - 場 所：しおん荘会議室（評議員の選任）
- ② 苦情解決第三者委員会
 - ・開催日：平成 30 年 4 月 26 日（佐藤委員、阿部委員、庄司委員）
 - 場 所：しおん荘会議室（平成 30 年度の各施設苦情対応状況）
- ③ 施設担当理事協議会
 - ・七窪思恩園担当理事（梅津理事、遠見理事）
 - 開催日：平成 30 年 8 月 30 日 / 平成 30 年 9 月 21 日
平成 31 年 1 月 16 日 / 平成 31 年 3 月 4 日
 - ・湯野浜思恩園担当理事（畠中理事、秦理事）
 - 開催日：平成 30 年 10 月 29 日 / 平成 31 年 3 月 8 日
 - ・しおん荘担当理事（五十嵐理事、小松理事）
 - 開催日：平成 30 年 9 月 20 日 / 平成 31 年 2 月 21 日
 - ・思恩会福祉プラザ・多機能かも担当理事（大瀧理事、原田理事）
 - 開催日：平成 30 年 10 月 30 日 / 平成 31 年 2 月 27 日
- ④ 多機能ゆのはま運営推進会議（厚生労働省令第 34 号第 85 条第 1 項）
 - 開催日：平成 30 年 5 月 24 日 / 7 月 26 日 / 9 月 27 日 / 11 月 29 日
平成 31 年 1 月 24 日 / 3 月 28 日
- ⑤ 多機能かも運営推進会議（厚生労働省令第 34 号第 85 条第 1 項）
 - 開催日：平成 30 年 5 月 30 日 / 7 月 26 日 / 9 月 25 日 / 11 月 27 日
平成 31 年 1 月 29 日 / 3 月 26 日

⑥ 施設運営委員会

- ・七窪思恩園 開催日：平成 30 年 11 月 26 日 / 平成 31 年 3 月 12 日
- ・湯野浜思恩園 開催日：平成 30 年 10 月 29 日 / 平成 31 年 3 月 8 日
- ・しおん荘 開催日：平成 30 年 9 月 18 日 / 平成 31 年 2 月 26 日

6. 主な関係団体における役職

*平成 31 年 3 月 31 日現在

(1) 理事・監事

- ・山形県保護観察所保護司
- ・山形裁判所鶴岡支部調停委員
- ・山形県酒田特別支援学校教育後援会副会長
- ・鶴岡地区特養連絡会会長
- ・鶴岡市社会福祉協議会評議員
- ・市町村職員年金者連盟支部理事
- ・人権啓発推進委員
- ・鶴岡市情報公開・個人情報保護審査会委員
- ・鶴岡市行政不服審査会委員

(2) 施設長・職員

- ・社会福祉法人栄保育会理事
- ・山形県老人福祉施設協議会監事
- ・山形県社会福祉振興会理事
- ・鶴岡市要介護認定審査会委員
- ・鶴岡市児童福祉審議会委員
- ・鶴岡地区防火管理連絡協議会副会長
- ・老人ホーム入所判定部会委員
- ・荘内看護専門学校講師
- ・山形県老施協、鶴岡市喀痰吸引等基本研修指導講師
- ・日本社会福祉士会会員
- ・成年後見人登録
- ・全国健康保険協会健康保険委員
- ・鶴岡市総合計画審議会厚生専門委員会委員

7. 他団体からの認証等

- ・なし

8. 実習生の受け入れ（養成施設指定を含む）

- ・七窪思恩園（保育士実習）：尚絅学院大学、東北福祉大学、千葉聖徳大学、東北文教大学、石巻専修大学、東北文化学園専門学校、仙台青葉学院短期大学、仙台こども専門学校、聖和学園短期大学、羽陽短期大学
- ・しおん荘（インターンシップ）：鶴岡第五中学校
- ・しおん荘地域包括支援センター（看護師実習）：荘内看護専門学校